

7. 冬期道路管理を効果的に実施していく上での課題

雪寒事業の評価に関する課題

雪寒事業の実施に当たっては、他の公共事業と同様に、事業効果（便益）を的確に捉えた事業評価を行うとともに、それぞれの施策の効果を明らかにしていくことが必要である。

サービスレベルの設定に関する課題

わが国の雪国は、諸外国の雪国と異なり降雪が多く、また地域毎に雪質が異なるため、画一的な基準を明確に設定することが難しい。

しかしながら、効率的な冬期道路管理を図るとともに、住民に対して明確な行政の責任範囲を提示するためにもサービスレベルの設定が不可欠であり、今後冬期道路管理のサービスレベルの設定に向けた検討が必要である。

コストの縮減

消融雪施設等は、電力などのランニングコストが大きく、また、耐用年数も他の道路構造物と比較して短いため更新コストも大きいことから、コスト縮減が大きな課題となっている。

アカウンタビリティに関する課題

除雪の実施や消融雪施設の計画・整備に当たっては、事前に地域住民へその内容を説明するとともに、パブリック・インボルプメントの導入など、地域住民のニーズに基づいた事業の実施を推進する必要がある。

アカウンタビリティ（accountability）

公共事業実施者の説明責任のこと。公共事業の説明責任とは、「政策、施策等を説明する責任」という意味に加え、「政策、施策等を説明できる方法で実施する責任」という意味を含み、政策、施策等の内容の説明、実施過程の説明、実績の評価等を国民に対して実施する責任があり、さらに、その説明を「わかりやすく」行う責任があることをいう。

パブリック・インボルプメント（public involvement）

公共事業等を進める上で、計画策定や意思決定の段階から、住民の参加を求め、住民など広く関係者の意見をできるだけ反映させる方式のこと。

雪寒事業の評価に関する課題



国道342号冬期閉鎖区間
 ・平成12年5月19日解除
 ・平成13年4月28日解除

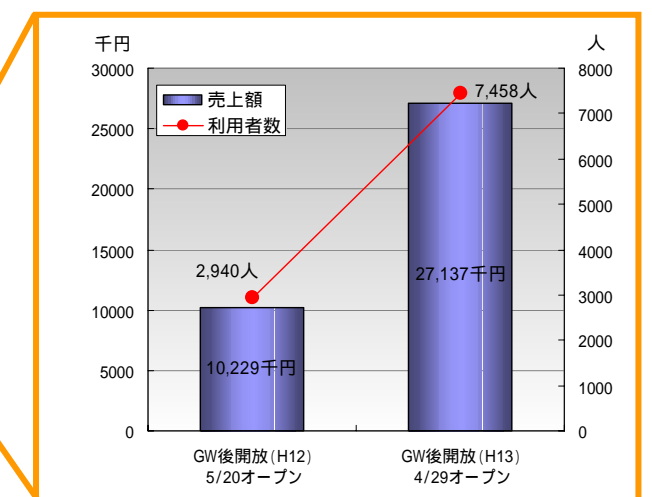


図39 栗駒山荘の利用者数及び売上額

資料：「道路」2002,2月

コストの縮減

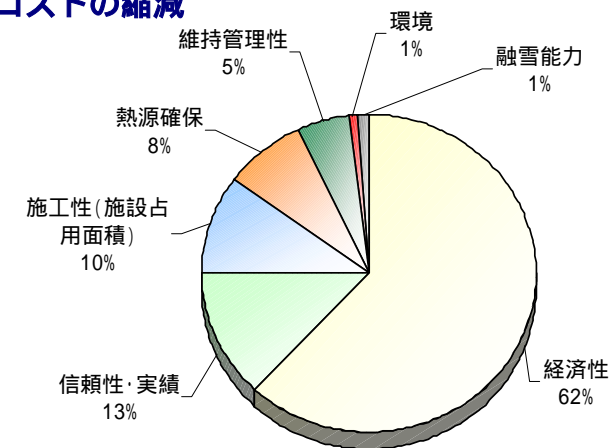


図40 施設管理者へのアンケート調査

～道路消融雪設備の課題について～

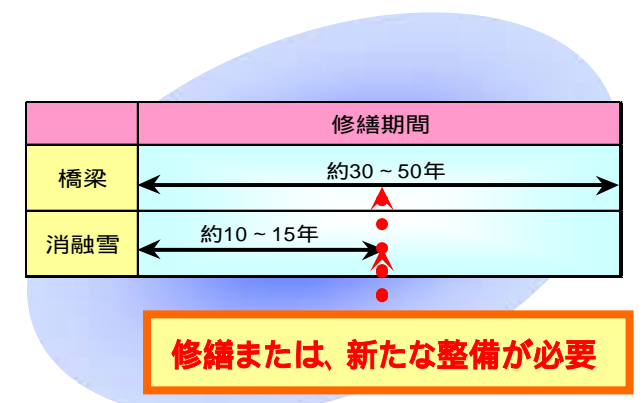


図41 修繕期間イメージ図

資料：H14年独立行政法人土木研究所

Column

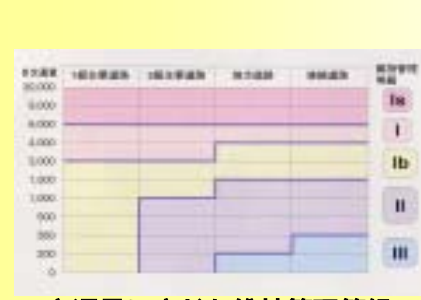
～フィンランドの冬期道路維持管理～

フィンランドでは、サービスレベルとして主に、交通量、道路種別、地域の気候、摩擦係数、路面積雪深、作業サイクル時間、路面の平坦性により、5段階の維持すべき路面状態を定めている。



路面状況の各階級

資料：PIARC2002 Snow&Datebook中間報告



交通量に応じた維持管理階級



摩擦係数の基準

説明責任に関する課題

「情報提供あり」とは、調査票とともに、札幌市の雪対策の経緯と現状として、下記項目についての情報提供の説明文を添えて行った調査。
 ・札幌市の除排雪費の推移
 ・年度別道路管理延長と除雪延長
 ・「雪さっぱり21計画」

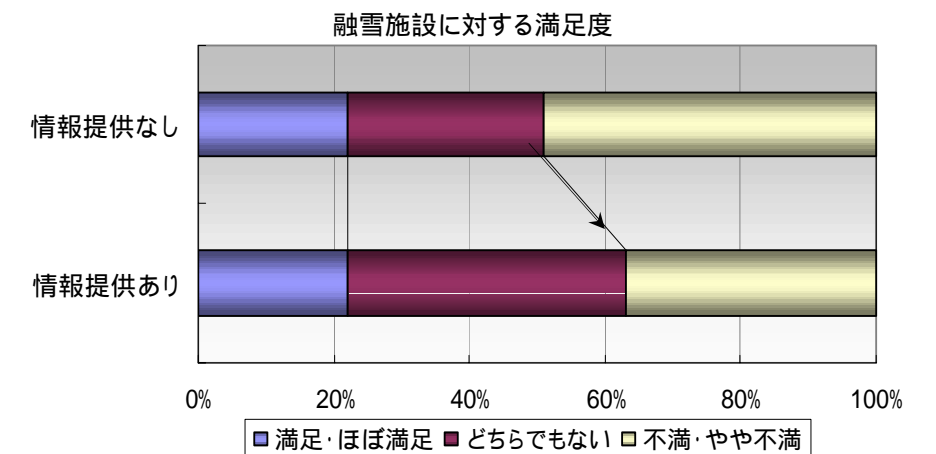


図42 融雪施設に対する満足度

資料：『除排雪事業における住民満足度と行政情報提供の効果に関する研究』建設マネジメント研究論文集vol8 2000

高齢化・少子化により個々の世帯の雪処理対応力が低下

核家族化の進展や高齢者世帯の増加により、かつては各々の世帯で行っていた雪対策への対応力が低下してきている。

住民の公共意識のあり方に関する課題

我が国は世界的にみて、若年層を中心に公共意識に基づく活動(ボランティア活動など)意識が低く、地域コミュニティによる地域協働型の雪対策が困難になりつつある。

雪に対する知識不足に関する課題

雪国以外の人々が雪みちを運転する場合には、道路の路側でチェーン着脱を行うなど、雪みちを運転する場合の基礎的な知識不足に起因する渋滞や事故を引き起こしている。

近年の少雪化傾向に伴い、若年層の雪に対する知識が不足しており今後、雪および雪道に対する理解や雪国の文化や伝統を継承するための仕組みが必要である。

高齢化・少子化により個々の世帯の雪処理対応力が低下

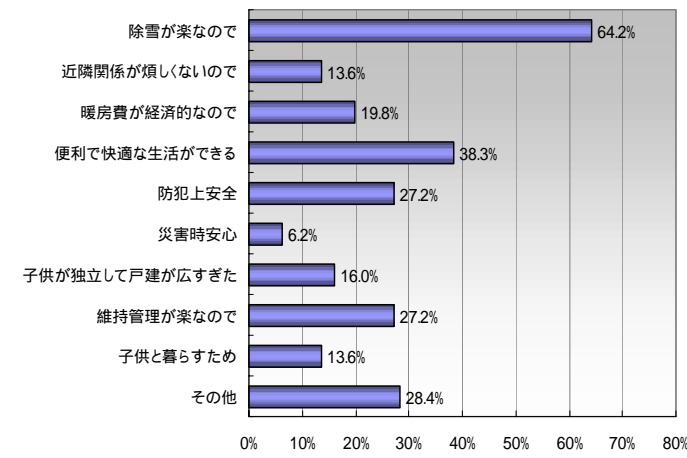


図43 年をとって戸建住宅から集合住宅に移った理由
資料：2002年冬の都市フォーラム論文集

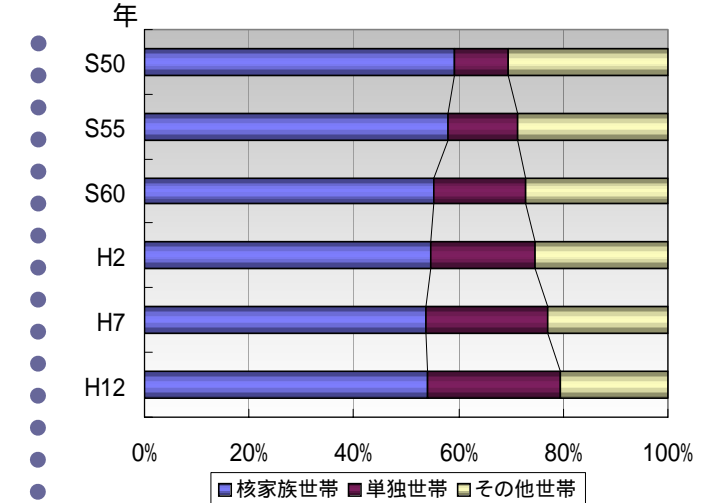


図44 雪国の世帯構成 資料：国勢調査

住民の公共意識のあり方に関する課題

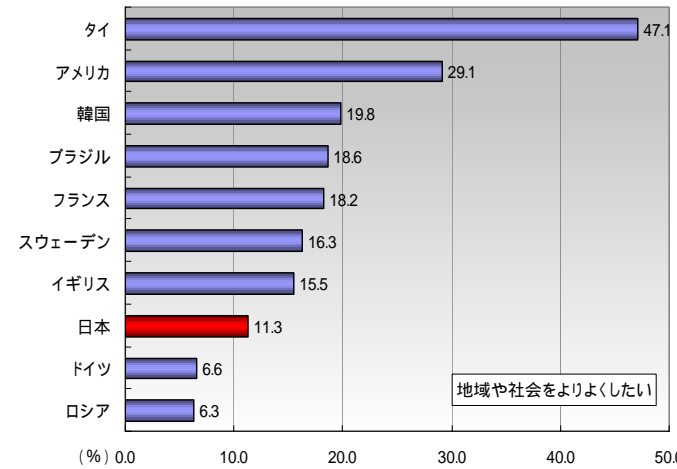


図45 ボランティア活動に対する興味
資料：第6回世界青年意識調査報告書(1989年、総務庁)

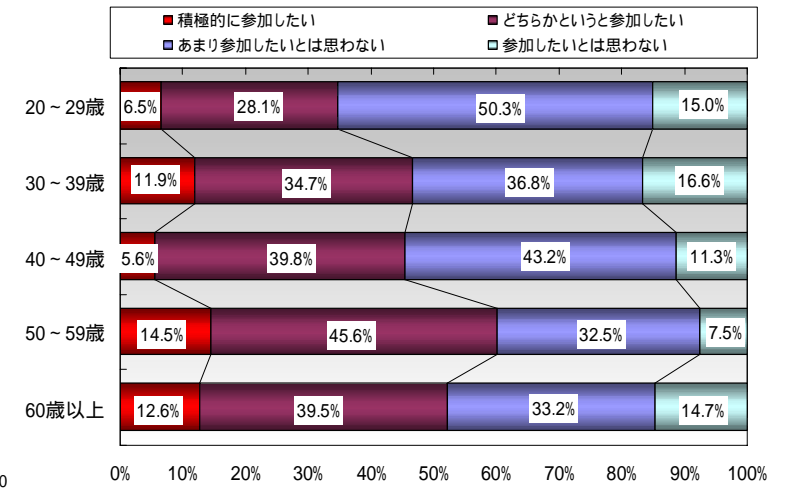


図46 年齢層別に見たボランティア活動や地域活動への参加意欲
資料：H12年国土交通省資料

Column

~少雪傾向と雪道に対する知識不足~



出典：北國新聞(金沢)平成13年1月21日

雪に対する知識不足に関する課題



通行の妨げとなる場所でのチェーン装着



マナーの低下・知識不足が及ぼす渋滞